

巨人の里

いなかみち 富津

その昔、峰上地区には「でえっぼ」がいたそう。巨人伝説と山丘の城跡、神様の湧水とお地蔵様たちがお出迎えする不思議な里へいらっしゃい。
参考文献：ふじおある著「上総の民話」
中嶋清一著「富津市の民話と民謡」
うちのみさお著「みかみのむかしばなし」

高岩山のサル生息地 国天然記念物の二ホンサルを周辺地域を含めて15群400頭以上確認している。

大食らいまち (山神社)

大田利に1升のごはんを大きなお椀にもって食べる祭りがある。五穀豊穡を願うこの祭り、食べる役は3~4人で、たいていは食べきれないが、中にはぜいぶん食べてしまう大食らいもいたそう。
※祭りは10月に行われる

関所の大わらし

関所の地区境3カ所に大きなわらしがぶら下がっている。このわらしは長さ150cm、幅60cmの片方のみで、同じワラで編んだ酒樽と木炭と杉の小枝が添えられている。「私の村では、厄病は済み(木炭)ました。厄病は過ぎ(杉)ました。この村にはこんな大きなわらしをはく大男がいる。これを見た厄病神は村の入口から引き返していこうから、お酒でもてなし、新しいわらしを覆って帰っていただく。」という人々の願いがこめられている。毎年2月の第1日曜日に地区のお堂で、新しいわらしが作られ、古いものととりかえる「綱釣り(つなつり)」が行われる。

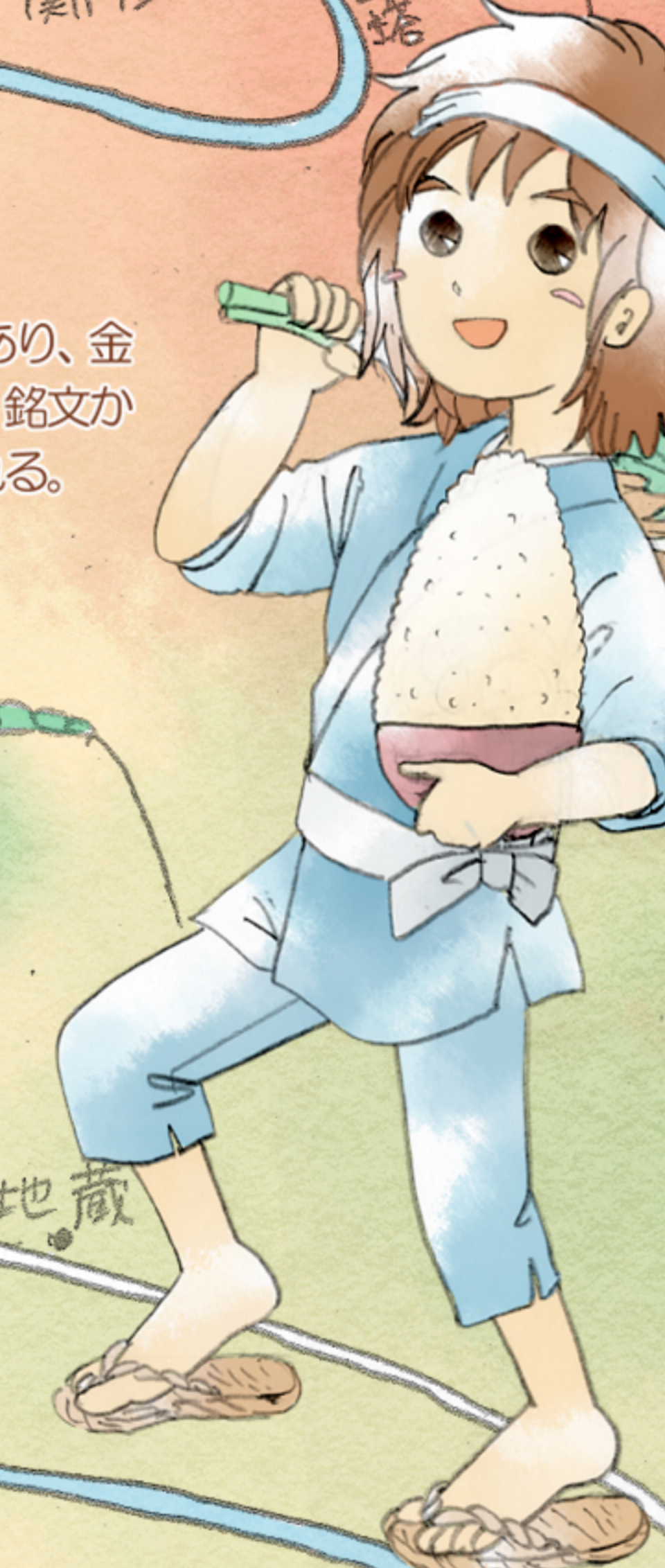
女でえっぼ (姥石)

その昔、谷に大女が猿たちとともに暮らしていた。人々はこの大女をでえっぼと呼んだ。大女は大岩ほどの石で粉を挽き、団子を作って、猿たちと分け合っていた。ある年日照りが続き、大女が飲み水にしていた沼の水が減り、沼の主が「これからは地で飲んでくれ」と言った。大女は「他の沼では足んねえから、飲ましてくれ。」と頼んだが、主には断られた。怒った大女は、命の次に大事な石臼を袖に入れ、富津から富士山へひとまたぎ、走っていった。そのとき、大女の袖が破れて石臼を谷へ落としていった。その石臼は今も谷にあり、姥石と呼ばれている。

姫ご淵 環の城が敵に攻められたとき、美しいお姫様が岩待につられ逃げた。敵の兵につかまりそうになった姫は、川に身を投げた。以来この場所を「姫ご淵」と呼び、10月の静かな夜は、川の淵から姫の静かな琴の音が聞こえるそう。
夜わらをうたがい 村では「夜わらを打たない」といふ伝説がある。環の城が敵に攻められたとき、わらを打つ音が敵に伝わり環の城が破れてしまったためだそう。

関所跡 この地或は中世に防衛的施設としての関があり、この場所は関の谷切通しと呼ばれた。

市民の森フェスタ 5月5日
市民の森キャンプ場開設 (7月1日~8月31日)



峯上城跡 (環城)
峯上城は、標高約120mの山丘を中心に築造された中世の山城で、武田信興によって建てられたと伝えられている。最高所にある環神社は、天満天神と摩利支天が祀られ、鰐口に天文2年9月3日と記されている。真里谷武田氏が本拠とし、里見氏と対峙したが、その後城跡は里見氏の支配となり、室町末期に廃城となった。※城跡は私有地のため、現地に入る場合は石井家に声をかけるか、下記へ問い合わせください。

源氏水 (龍宮神社)
源頼朝が勝利の祈願に神社を訪れた。「このあたりには水がない」と聞いた源頼朝は、もっていた槍で地面を一突きした。すると見る間に水が湧き出して池になった。この池は、どんな日照りのときでも、水が枯れないそう。

見ざる言わざる聞かざる



銘水滝の不動尊
7:00~20:00

志駒不動様の霊水

紅葉の見頃
丸いちょう 11月中旬
もみじ 11月下旬~12月上旬

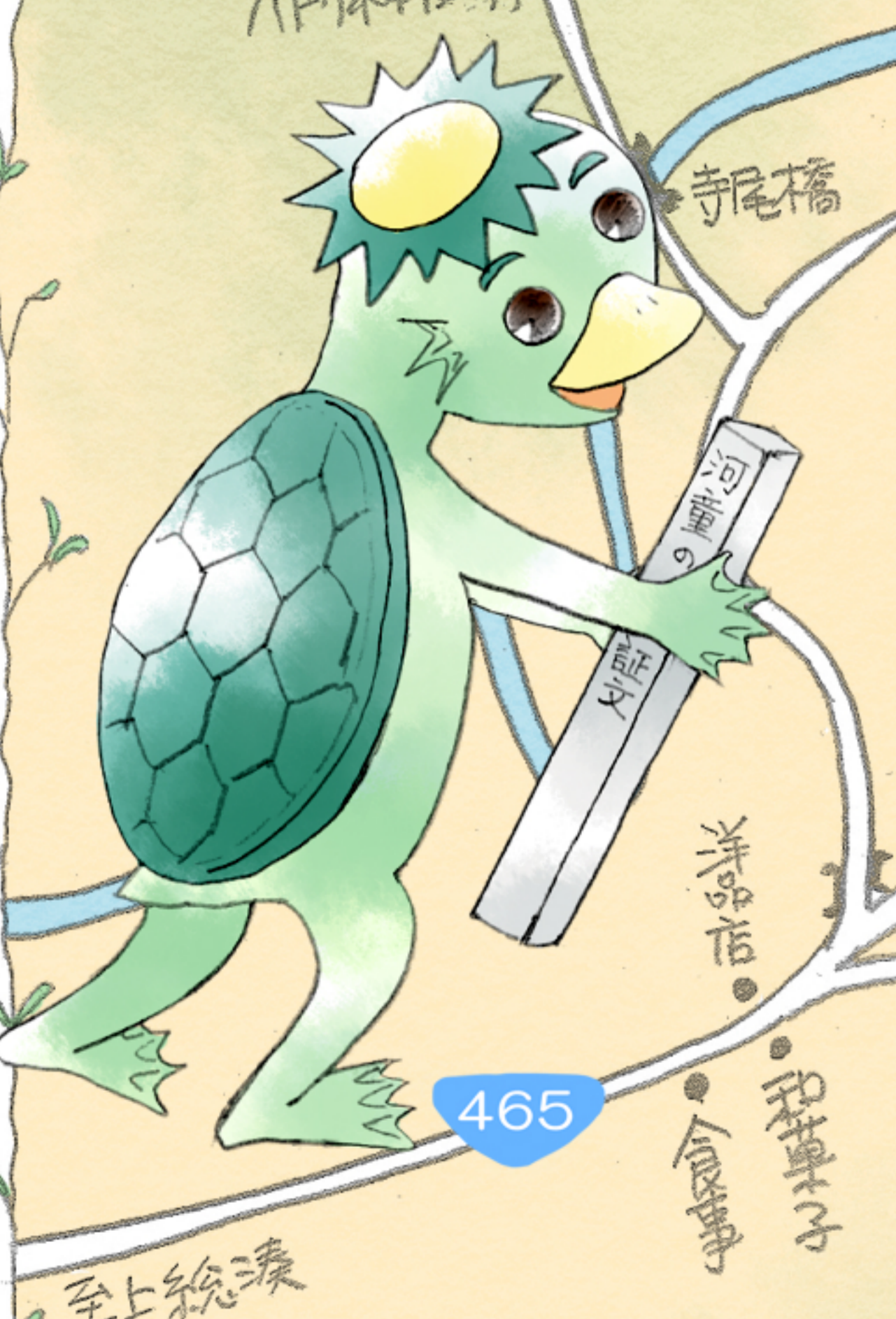
板碑 (興源寺) 板状の石を用いた供養塔。高さ110cm最大幅26cmで室町中期のもの。級の墳墓で、仏堂を兼ねている。

環の大樟 (興源寺) 樹高23m 根回り約20.7mで千葉県内最大のもの。県指定天然記念物。

宝鏡印塔 (御原) 岩見堂前の岩窪内に2基あり、金剛界種子が梵字で記され、銘文から室町中期のものと思われる。

山静堂診療所 (主屋) 木造平屋建て入母屋造り、椽瓦葺きの伝統的和風建築。国登録有形文化財。

河童の証文 (六所神社)
昔、川を渡る馬を川へ引きずりこんで、悪さをした河童がいた。ある日、馬に飛びついたがしっぽをつかんでしまい、反対に陸に揚げられた。怒る馬方に、河童は「これからは絶対に悪さはしないから助けてくれ」と謝り、証文として石の棒を渡した。河童は悪さをしなくなり、証文は神社の木の根元に立ててあったと伝えられている。※現在は証文の石碑等は残っていません



問い合わせ
富津市(市外局番 0439)
商工観光課 ☎80-1291
秘書広報課 ☎80-1225
生涯学習課 ☎80-1342

もみじロード看板 → 県道162号 → 県道34号 → 県道88号 → 国道465号 1周約28km

※河童と巨人のイラストはイメージです